



6月号
 令和8年6月1日
 堺市立東陶器小学校
 TEL 236-0036
 FAX 236-0020

「自分大好き 友だち大好き 学校大好き」 - 体育参観ありがとうございました -

校長 渡邊 耕太

体育参観には大勢の保護者の皆様にお越しいただきありがとうございました。今年度も発達段階の近い1・2年、3・4年、5・6年のそれぞれ2学年のまとまりで実施することにより、互いに刺激し合い、高め合える機会となりました。保護者の皆様には、演技・競技する学年がかわるごとに観覧場所を交代していただくなど、ご協力いただきましたことにお礼申し上げます。

体育参観から子どもたちが学んだことは、単にダンスや組体操などができるようになったことをはるかに超える大きなものでした。

6年組体操では、個人技のみではなく、複数人の技、全員の技を行いました。人の上に人が乗るような技は、ただ単に技ができるようになるという目標だけで成功するものではなく、人と人の関係のなかで強い信頼関係が必要になります。下で土台になる人が、上に乗られることに否定的な気持ちを持っている間は技は成功しません。また上に乗る人が、土台になっている人に遠慮しているようでは、仮に技が成功したとしても、胸を打つような演技にはなりません。土台になる人も上に乗る人も、互いに、技を創り上げるために欠かせない存在であることを実感し、声や体で通じ合ってこそ、単なる技を超えた、見る者の胸を打つ演技となります。体育参観当日、一つひとつの技がそれぞれ感動を与えていたことには、そのような子どもどうしの信頼関係や気持ちの通じ合いがこれまでの体育の学習をとおして積み重ねられたからと考えます。6年の組体操だけではなく、1年～5年の団体演技や団体競技のなかでもともだちどうしの信頼関係がみられた姿が多くみられました。

体育参観の各学年の運営は実行委員が進めました。体育参観練習開始から当日まで話し合ったり、自身のセリフを何度も練習したりしていました。当日は、はじまりの言葉、おわりの言葉を朝礼台の前で堂々と宣言し、各種目のアナウンスも行いました。子どもたちが主体的に行事を創りあげることを経験し、一人ひとりがその役割を達成できたことにより大きな自信や豊かな心を育成したいと考えています。

1, 2年生の体育参観終了後、大雨になりました。雨雲レーダーを見て、一時的な雨であることを確認し、3, 4年の体育参観の時間を変更して実施することにしました。雨がやみ、その後、運動場にできた水たまりに砂を埋める作業を行いました。職員とともに、保護者の方にも手伝っていただき短時間で開始できる準備ができました。「砂入れ手伝いますよ」とおっしやていただいた保護者の方から始まり、多くの保護者の方のご協力ありがとうございました。

最後になりましたが、PTAの皆様には、前日までの周到なご準備と当日の様々なお力添えをいただき、入場や入れ替え等運営の全般をスムーズに行うことができました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。



1年生の他学年との交流



(写真上) 5月7日、1年生があさがおの種を植えるのに6年生から植え方を教えてもらいました。

(写真上) 5月8日、1, 2年合同で学校探検をしました。2年生が1年生を案内し、各部屋の紹介をしました。

異なる学年の子どもたちどうしで活動することで、高学年はリーダーシップや責任感が育ち、低学年は上級生を見本として集団生活のルールやコミュニケーションの仕方を学ぶことができると考えています。

6月の行事予定

1	月	6年校外学習, 検尿2次
2	火	耳鼻科検診(3, 4年抽出), 交通安全教室予備日(1, 5年)
5	金	水泳前検診・総合判定(抽出) 検尿2次予備
8	月	新体力テスト①
9	火	新体力テスト②, 歯科検診(1年, 3-1, 3-2)
10	水	A5 6年租税教室(3, 4時間目), 委員会活動
11	木	新体力テスト予備日①, 歯科検診2, 4, 6年 PTA本部役員会 19:00
12	金	新体力テスト予備日②, 歯科検診3-3, 5年
15	月	水泳学習開始
16	火	6年アルバム撮影
17	水	A5 クラブ活動
18	木	1, 3年交通安全教室(3, 4時間目)
24	水	初研 S4下校 13:15
25	木	S6下校 15:30

教育目標
 ○よく考え 主体的に活動する 心豊かな子どもの育成
 ○自分大好き ○友だち大好き ○学校大好き

教職員像
 こども一人ひとりのために「学校力」を発揮する教職員
 こどもたちの学びを支える笑顔いっぱい元気な教職員

こども像
 ○感謝の気持ちを言葉で伝える笑顔いっぴいの元気な教職員
 ○笑顔で登校し、笑顔で下校することも

7月の主な行事

O2日(木), 3日(金)
 6日(月) 7日(火)
 個人懇談 S4 下校
 13:15

O2日(木) 集団下校
 O8日(水)~16日(木)
 A4下校 13:45 ごろ

O16日(木)
 給食最終日

O17日(金)
 1学期終業式
 A3下校 11:45 ごろ

※予定は変更する場合があります。

【① 授業改善による学力と自己肯定感の向上】

ほんものに学ぶこと

5年では、総合的な学習の時間に「稲作」について学習しています。自分たちでお米を植え、収穫する過程で、稲作の生産や流通を理解し、自然や環境への気づきや勤労観の育成を図っていきます。

下の写真は、地域でお米を作っている方から、東陶器小学校区にある田についての一年間の収穫までの流れ、喜び、苦労などについて話を聞いている場面です。真ん中写真は、水耕栽培という手法を用いてお米を作っている方からお話を聞いている場面です。



話を聞いた子どもたちからは、「5月上旬から田植えを始める地域もありますが、東陶器では土壌や気温などから6月に入ってから田植えをすると聞いた。地域によって違うことがわかった」などの感想があるなど、東陶器小学校区というこの土地ならではの気候や水などに合わせた独自の工夫を直接学んだり、「自分も高齢になり、いつ田植えができなくなるかわからないという思いは常にもっている」など、リアルな経験談から農業の厳しさやそこからの知恵を聞き取ったりしていました。また、子どもから「田んぼは普段よく見るが、そこでおいしいお米がつくられていたことを知り、自分に何ができるのか考えた」など、校区や地域に対する誇りや愛着を感じているような感想も見られました。

地域の方からお話を聞くことで、教科書の学習では得られない生きた学びや地域への誇りを育成したいと考えています。

写真右は、2年生のミニトマトなどを植えている鉢の写真です。藁が敷かれています。土の表面に藁を敷くことは、直射日光による水分の蒸発を防ぎ、乾燥から根を守ったり、雑草を生えにくくするためなどの理由からです。地域の方からそのような話を受け、また栽培している植物が育つようにと、藁もいただき、今の2年生の鉢のようになっています。ここでも教科書の学習のみでは得られない実際に育てている方からのアドバイスがありました。

本校では、「子ども自らが問いを立て、実社会の課題に挑戦し、生きる力を養う探究的な学び」の実現をめざしています。地域の方々からの上記のようなほんものから学べるお話や支援について、これからも推進したいと考えておりますので、ご理解ご協力よろしくお祈いします。

【②豊かな心と健やかな体の育成】

1年 ポンポンを手に付け、元気に踊りました。



3年 自然を表す表現方法を考え、踊りました。



5年 動きにメリハリをつけ、圧倒的な演技でした。



2年 ハッピーな気持ちで、たのしく踊りました。



4年 速いテンポの曲に体の動かし方がスムーズでした



6年 最後の全員技もしっかりと決まりました。



○学校 HP について

学校の様子をブログでお知らせしています。
携帯、スマホでも御覧いただけます。

